

# 岩崎城だより

No.72  
2026/4/1



「石楠花」  
いそはた みか

## 館長のおはなし

明治三十九（一九〇六）年五月十日。今から一二〇年前、岩崎村（\*1）、白山村（\*2）、香久山村（\*3）が合併し、「日進村」が誕生しました。

当時の時代背景としては明治三十七年に勃発した日露戦争が翌年日本海海戦の勝利などを経て、一応日本の勝利という形でポーツマス条約が結ばれます。この戦争の勝利は近代化を進めてきた日本が欧米列強と肩を並べるところまで来ていたことを示していました。一方、多くの犠牲を払ったのにも関わらず日本は賠償金を得ることができなかったこともあり、国民の不満が高まっていきました。

このように日本が軍国主義に進み始めた時代が日進村が誕生した時代です。日本海海戦での勝利は当時の新聞などでも一面で取り上げられています。この戦で主力艦隊の一つであったのが巡洋艦日進。日進村の由来となったとされる軍艦です。なぜ数ある軍艦の中から「日進」であったのか（\*4）。詳細な経緯は不明ですが、一二〇年経った「日進」の地名。改めて注目してみませんか？

\*1 岩崎村、岩藤新田村、北新田村が合併してできた村

\*2 米野木村、三本木村、藤島村、本郷村、藤枝村が合併してできた村

\*3 野方村、浅田村、折戸村、蟹甲新田村、梅森村、赤池村が合併してできた村。

\*4 同じ時期に日本が購入した巡洋艦に「春日」もあり、明治三十九年春日村（現清須市）も誕生していますが、これは郡名の西春日井郡からではないかと思われれます。

# イベント情報

## 日進市菊花大会 菊作り講習会

第1回:5月30日(土)  
時間:10:00~  
場所:岩崎城歴史記念館横  
対象:どなたでも

初心者の方でも大会実行委員が丁寧にお教えます。第1回は菊の苗をポットから鉢へと植え替えます。第2回、第3回と菊の植え替えを行い、立派な大菊を育てましょう！



## 剣術道場

日時:4月19日(日)  
5月17日(日)  
時間:11:00~/14:00~  
場所:岩崎城址公園  
対象:どなたでも

岩崎城刀劇隊が本格的な剣術を指南する道場です。簡単な刀の扱い方、剣舞、ポーズなどを練習します。



## にわさきくん出陣

日時:4月12日(日)  
5月3日(日)  
時間:11:00~/14:00~  
場所:岩崎城

にわさきくんが岩崎城でおもてなしをします！この日は一日中キャラ印も頒布します。ぜひ会いに来てくださいな。



## 岩崎城 みんなのぬりえ展

募集:5月23日(土)  
~7月5日(日)  
展示:6月20日(土)  
~8月2日(日)  
対象:小学生以下・無料

みなさんのぬり絵を募集して、お城に展示します。参加してくれた人にはにわさきくんシールをプレゼント！いろいろな種類のぬりえを用意してお待ちしています！



## 「岩崎城だより」

発行日 2026年4月1日(年4回発行)  
編集・発行 岩崎城歴史記念館

〒470-0131  
日進市岩崎町市場 67 番地  
Tel 0561-73-8825  
Fax 0561-74-0046  
<http://www.mf.ccnw.ne.jp/iwasakijo>



岩崎城 HP

◆開館時間  
9:00~17:00

◆休館日  
月曜日  
(祝日の場合は開館)  
12月28日~1月4日



# 岩崎城検定《初級第6回・中級第5回・上級第3回》

小牧・長久手の戦いや岩崎城の縄張り、岩崎城発掘調査などが含まれます。  
岩崎城や小牧・長久手の戦いについて深く学んでみませんか？

【初級】6月20日(土)10時～11時/6月21日(日)10時～11時

【中級】6月20日(土)14時～15時

【上級】6月21日(日)14時～15時



申込期間:5月1日(金)～6月7日(日)電話かメール、直接窓口にてお申込ください

※初級・中級・上級の併願は可能です。(初級を合格していなくても中級・上級受検可)

検定料:【初級】500円【中級】800円【上級】1000円 受験日に支払い

申込が完了した方から順次受験票を郵送します。

★岩崎城検定に向けた対策講座を開講します。日時は4月18日(土)。詳しくは岩崎城HPをご確認ください。

## 岩崎城歴史記念館第1回歴史講座

### 「一から学ぶ日進の歴史

### ～日進誕生120年～」

2026年5月10日のちょうど120年前である1906年5月10日、岩崎村、白山村、香久山村の三村が合併し、「日進村」が誕生しました。これに合わせて、三村合併の流れや、なぜ役場が蟹甲にあるのかなど、現在の日進につながる歴史を紹介します。

日時:5月10日(日)14時～15時

場所:岩崎城歴史記念館2階

講師:村田信彦(当館館長)

参加費:無料

人数:30名(日進市民在住に学在勤優先枠あり)

募集:4月14日(火)9時～5月9日(土)

岩崎城歴史記念館までお電話ください。

## かつちゅうちゃくようたいけんかい 甲冑着用体験会

端午の節句にかっこいい甲冑を着てお城で写真を撮りませんか？

日時:4月29日(水・祝)、5月4日(月・祝)

5月5日(火・祝) 10時～15時

場所:岩崎城址公園

対象:どなたでも・無料



# にしんの地名

日進誕生120年を記念し、今の日進に残る地名の秘密を紐解いていきます

## 第一回 大字「赤池」の由来

赤池という地名が初めて歴史資料に書かれるのは、

① 南北朝時代成立の『神鳳鈔』に「赤地畠二丁」と書かれています。↓「赤地」を「赤池」の間違えという説。ただ、愛知県稲沢市にも「赤池」という地名があるので、この「赤地(赤池)が日進の赤池である確証はありません。

② 天分二十一年十月四日の『賢秀檀那注文』(加賀国の白山信仰に関わる資料)に「尾州八事迫大聖寺先達所事」として「赤池」とある。↓この資料が初めてにしんの「赤池」が書かれたものと考えられます。

また、『尾張国地名考』「赤池村」には、「むかし大蛇の住たる淵あり。此故に赤池といふ。後世つづれて其跡に寺院を建て蟠住山龍淵寺と呼とぞ。」とあります。『日進村誌』には、龍淵寺西の「崖下に清浄なる泉の滾々として湧出す、……此の泉次第に大きくなりて、始めは関伽水(\*ー)と称せしをいに関伽池と唱ふる様になれり」とあり、「関伽↓赤」となったという説もあります。

\*ー 関伽水…仏様にお供えする水

参考…日進市教育委員会「89.「日進町の地名」

地名」

次回は

第二回 赤池の「小字」

です。



# 收藏品紹介

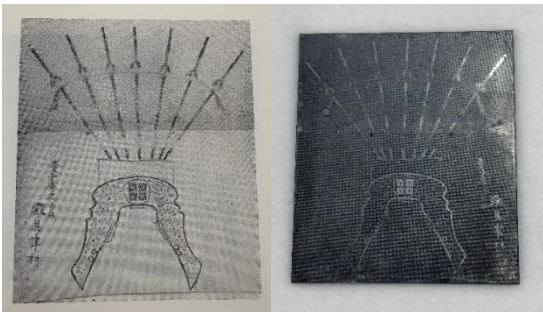
## ◆資料編六凸版◆

にしんちちゅうしじゅうへんろく

『日進町誌資料編六』の馬の頭の標具、絵図などの画像部分を印

刷するとき使用された版です。版は凹凸がほとんどない「平版」と呼ばれるものが多く、油が水を弾く方法を用いて、インクを塗り印刷します。平版を使った印刷は1798年にドイツで発明されました。もともとは石灰岩を用いたため「石板印刷」と呼び、使い終わったら石を削って再利用しながら利用されました。ただ石板は重く扱いにくいこともあり、亜鉛版が使用され、技術の発展とともに世界各国に広がりました。

『日進町誌資料編六』を開くと平版と同じ画像を見つけることができます。ぜひ日進町誌をお手に取って探してみてください。



↑隣の平版と同じ『日進町誌資料編六』の画像

